

はま風 *sea breeze*

Vol. 25
2021. 12



「ブックログ」はじめました。

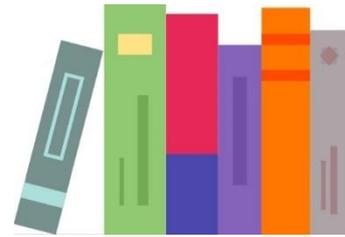


- ◆ 巻頭言 p. 2
「本を読むことに関してのひとりごと」
教育学部 こども未来学科 学科長 井上 龍彦
- ◆ 推薦図書の紹介 p. 3
 - ・「花のかみかざり」
看護学部 看護学科 講師 藤田 敦子
 - ・「英語の感覚・日本語の感覚：〈ことばの意味〉のしくみ」
教育学部 こども未来学科 助手 陳 靄琳
- ◆ 「読書マラソン」参加学生からの本の紹介 p. 4
- ◆ 「ブックログ」に当館の本棚を公開しました p. 5
- ◆ 豊岡短期大学図書館の図書も借りられます p. 5
- ◆ 附属図書館からのお知らせ p. 6

巻頭言

本を読むことに関してのひとりごと

姫路大学 教育学部 こども未来学科
 学科長 井上 龍彦



私の本との出会いは、幼少期の絵本です。今でも思い出すのは昔話シリーズの表紙絵や挿絵です。先日、実家で探してみるとその当時の絵本が残っていました。トッパンの愛児えほん 2才-4才「いっすんぼうし」や、ひかりのくに おとぎばなし「舌切雀」が見つかり、値段が70円や50円と書かれており、あまりの安さに驚きました。皆さんにも印象に残っている絵本があると思います。絵本をきっかけに本や書物に興味を持ち始めたのではないのでしょうか。ではなぜ絵本なのか。幼児は文字から内容を理解するよりも、視覚(絵)から情報を得て、音(言葉)で聞き(読み聞かせなど)、絵本の内容を理解しているのです。大人になれば文字を見るだけで内容が理解できます。この時には文字(言葉)から場面をイメージし、頭の中でまさに映画を見るように映像とセリフが見えたり、聞こえたりしているのです。でも、なぜそのようなことができるのか考えたことはありますか。私も含め誰も無意識にやっていることで、当たり前だと思っていますが、これは脳の発達と大きく関係していると何かの書物で知ったことがあります。言葉で聞いたものをイメージ化する「表象化」が関連しているようです。例えば、犬の漢字を見たり、音声でイヌと聞いたら、犬のイメージ(絵、写真、自分の飼っている犬など)が脳裏に出てくる。それは、犬とはどのようなものかということを知っている(記憶している)からです。このようにいろいろなものや事柄について見たり、聞いたり体験したりしている記憶があるからであり、逆に言えばそれらの記憶がなければ、イメージ化できないのです。ということは、多くの体験や経験することが書物を読む(理解する)ために役立っているのです。幼少期の絵本はまだ知識が少ない幼児に五感の視覚、聴覚を中心に刺激を与え、まだ知らない世界を絵の助けによりイメージ力を育む大切なものです。現在、テレビやインターネットでいろいろなことも簡単に見て知ることができます。調べ物も辞書を引くより、ネット検索の方が速く便利です。しかし、便利すぎるので自分の頭で考えたり想像したりする機会が減り、イメージ力が劣ってきているような気がしませんか?その時は書物を読んで、イメージ力の活性化を行ってみましょう。昔読んだ書物も再度読むと、新しい発見がありますよ。



「舌切雀(ひかりのくににおとぎばなし 1)」村瀬有紀・画 岩田住人・文 ひかりのくに昭和出版

「いっすんぼうし(トッパンの愛児えほん 59)」三越佐千夫・文 風間史郎・絵 トッパン

推薦図書を紹介



『花のかみかざり』

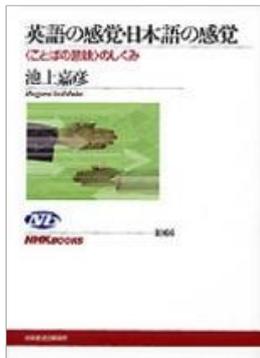
いもと ようこ (作・絵) 岩崎書店 2008年11月

看護学部 看護学科 講師 藤田 敦子

配架場所：絵本コーナー
請求記号：E118
ラベル番号：0049651

まず、看護師(うさぎ)が患者さん(たぬき)の車椅子を押す表紙の絵に興味をわいた。野花を摘んで渡すと「ほんとうに優しいね」と喜ばれたが、看護師はうずくまって泣き出すところから話は始まる。看護師には後悔していることがある。私も看護師2年目の準夜勤のことがいまだに忘れられない。化学療法中の患者さんがしんどそうに「そばにいてほしい」と言われたが、その日のせわしない状況をお伝えし「後で来ますね」と言い退室した。

消灯時間を過ぎて記録を始めた頃によく思い出し、慌てて訪室したが、すでに寝ておられた。どんな気持ちで待っておられたのかを考えると本当に申し訳なく、今でも悔やんでいる。本では「抱きしめておくれ」という患者さんの最期の願いを叶えられず、自責の念を抱えていた看護師が、時が経って別の患者さん(たぬき)を抱きしめることで癒されていく。タイトルからは想像できない展開で最後の言葉が心にしみた。



『英語の感覚・日本語の感覚：〈ことばの意味〉のしくみ』

池上 嘉彦 (著) NHK出版 2006年8月

教育学部 こども未来学科 助手 陳 靄琳

配架場所：一般図書コーナー
請求記号：830.4||IKE
ラベル番号：0049652

言葉による表現には、文法的に正しく、語法的に妥当で、文体に関してまったく問題がなくても、母語話者がみると決して“natural”とは言えないものがたくさんある。よく母語が違ふと発想も違ふと言われるが、同じことについて表現する際に、話す言語が違ふと、それぞれの言語の話し手が「好まれる言い回し」は必ず一致しないのである。ゆえに、表現が自然か不自然かという感覚は、文法や語法といった言葉の決まりを越えたところにあるように思える。

つまり、同じことであっても、その捉え方の違いが表現の仕方に反映される。認識の対象とされる客観的な事象をどのように捉え、どのように言語化するかという営みを通して、話し手によって主体的に創出されるものが異なり、社会の慣習としてその言葉に担わされている以上の意味が託されていることも普通である。この本は、主体的に思考し、行動する話し手を取り込んだ認知言語学の視点から言葉を考えて、文法や語法だけでは及ばないところに注目し、言葉の「感性」に関わる能力の重要性を気づかせてくれる。



「読書マラソン」参加学生からの本の紹介

学生の皆さんはコロナ禍の時間をどう過ごしていますか？当館では、学生の皆さんに読書の習慣を身に付けてもらおうと、「読書マラソン」を実施しています。読んだ本の感想を提出すると、ポイントが付与され、たまったポイントは、文房具などの学生生活に役立つ景品と交換できる企画です。活動に制限のあるこのコロナ禍の間、「読書マラソン」に参加して読書の時間を増やしてみませんか？「読書マラソン」に参加している学生が書いた感想文から、一部をご紹介します。



『告白』 湊かなえ 著 双葉社 2010年4月

【当館の所蔵情報】

配架場所：一般図書コーナー、請求記号：913.6||MIN, ラベル番号：0034578

～ 教育学部4年生 ペンネーム:杏とさん より～

【心に残った場面】それぞれの視点で書かれた事件の背景

【感想】前に何度か読んだことのある「告白」ですが、何度読んでも衝撃です。物語の序盤で事件の真相は明らかになっているにも関わらず、犯人からの視点、被害者からの視点、加害者家族からの視点、様々な視点から事件を何度も振り返ります。それぞれにそれぞれの生活環境、家庭環境があり、教師を目指す私にとってはとても考えさせられる内容です。いつ、どの言葉・行動が児童の心に刺さるかわからない。児童が抱える悩み、闇にきちんと気づくことができるのかなど、改めて教師という職業を見つめ直すきっかけにもなる作品です。

『おこだでませんように』 くすのきしげのり 作 石井聖岳 絵
小学館 2008年7月

【当館の所蔵情報】

配架場所：絵本コーナー、請求記号：E||オ, ラベル番号：0033216

～ 豊岡短大姫路キャンパス1年生 ペンネーム:トマトさん より～



【心に残った場面】お母さんが子供を抱きしめた場面です。お家の中の様子、短冊や家にはってある絵、全部見ながら読んで下さい。

【感想】大人のきめつけで、子供の気持ちを知ろうともせずいた。ある日七夕の短冊を書くことで初めて気付かされた大人達……。絵をよく見ると家族構成がわかったり、「ぼく」の気持ちがわかります。読みきかせながら、涙しちゃう本です。教育者になる人は読むべき本かな？と思います。大人に気付きをくれる、心にささる1冊です。

「読書マラソン」への参加申し込みは、現在のところは図書館カウンターで受け付けていますが、オンラインでも申し込みや感想文の提出ができるように、現在準備中です。詳細が決まり次第、お知らせします。

「ブックログ」に当館の本棚を公開しました

この度当館では、Web上に本棚を作成して、カテゴリ別に本を紹介したり、感想文を表示させたりすることができる「ブックログ」の利用を開始しました。現在のところ、「姫路大学附属図書館の本棚」を設け、当館が館内で実施している企画展示の図書を展示しています。本棚には本の表紙画像が表示され、どんな本か視覚的に確認することができます。本を選択すると、当館の所蔵情報や、他の「ブックログ」会員が投稿した感想やレビューを見ることができます。今後は、当館利用者の皆さんからの本の紹介文や感想の投稿を充実させていく予定です。



図書館に行って借りたい本、見つけた！



姫路大学マスコットキャラクター「ひめみちくん」

アクセス先 <https://booklog.jp/users/himeji-ulib> (当館のホームページのリンクアイコンからもアクセスできます。)

他の人がどんな本を読んでどう感じたかを知れば、きっと自分で実際に読んでみたり、もっと読書をして、いろんなことを知りたいと思うはずです！ぜひ、「ブックログ」の「姫路大学附属図書館の本棚」を覗いてみてください。(「ブックログ」とは、株式会社ブックログが運営しているweb上の本棚サービスです。<https://booklog.jp/>)

豊岡短期大学図書館の図書も借りられます

この度、当館と豊岡短期大学図書館における資料の相互貸借に関する規則を具体的にするため、「姫路大学・豊岡短期大学図書館間相互貸借に関する規程」が定められました。本学の学生、教職員は、当館を通じて、豊岡短期大学図書館に所蔵されている図書を取り寄せて借りることができます。豊岡短期大学図書館には、絵本や幼児教育関係の蔵書が豊富に所蔵されています。また同館の所蔵資料の検索は、利用者専用ページ(My Library)にログインした状態で「蔵書検索」(OPAC オパック)の画面を開くことにより、行うことができます。

- ・図書の取り寄せを希望する場合は、当館のカウンターで申し込み手続きをしてください。
- ・貸出期間、貸出冊数等は、下記のとおり豊岡短期大学図書館の館外貸出条件に準じます。また、貸出できない資料等、同館が定めるその他の諸条件がありますので、予めご了承ください。

豊岡短期大学図書館からの取り寄せ図書の貸出条件

対象利用者	対象資料	冊数	期間
学生	図書	5冊	14日間
教職員	図書	10冊	30日間



